

第36回児童生徒 読書感想文コンクール

今年度で36回目を数える児童生徒読書感想文コンクールに、今回も優秀な作品が数多く寄せられました。

参加総数718点(小学校1年生～高校生)のうち、27点が入賞作品に選ばれました。各賞を受賞した児童生徒の皆さんを紹介します。

また今月から、各部門の最優秀作品を順次紹介していきます。

※コンクールの審査対象は小学校3年生以上。

■審査

次の各学校の先生方に審査をお願いしました。

(敬称略・()内は学校名)

●小学校の部

石井 桃子(弟子屈小)／保田 真理恵(川湯小)／大野 孝喜(和琴小)／山本 学実(美留和小)／佐藤 俊(奥春別小)／永井 優子(昭栄小)

●中学校・高等学校の部

早川 将光(弟子屈中)／阿部 圭一(川湯中)／松田 祥(弟子屈高)

小学校の部 5年生

参加数 68点

▶最優秀賞／山崎 美玖 さん
(弟子屈小)



選んだ本
学校犬クワの一生

▶優秀賞／
阪口 貴明 君(奥春別小)
那須 喬 君(奥春別小)

小学校の部 6年生

参加数 74点

▶最優秀賞／船坂 唯 さん
(弟子屈小)



選んだ本
ハッピーノート

▶優秀賞／
上野 絵里奈 さん(弟子屈小)
中村 結 さん(奥春別小)
更科 宏記 君(昭栄小)

高等学校の部

参加数 119点

▶最優秀賞／鈴木 まなみ さん
(弟子屈高2年)



選んだ本
ブラバン

▶優秀賞／
芳形 明香 さん(弟高2年)
小澤 奏 さん(弟高1年)



小学校の部 3年生

参加数 59点

▶最優秀賞／渡邊 りな さん
(弟子屈小)



選んだ本
小公女

▶優秀賞／
小杉山 遥月 さん(弟子屈小)
坂上 愛美 さん(弟子屈小)
定木 千周 さん(川湯小)

小学校の部 4年生

参加数 60点

▶最優秀賞／山本 彩香 さん
(弟子屈小)



選んだ本
マリと子犬の物語

▶優秀賞／
西田 愛梨 さん(弟子屈小)
高本 琉奈 さん(川湯小)
八幡 彩未 さん(美留和小)

中学校の部 1年生

参加数 62点

▶最優秀賞／海老名 美生 さん
(川湯中)



選んだ本
僕の初恋をキミに捧ぐ

▶優秀賞／
中山 遥奈 さん(弟子屈中)
栗田 恵梨 さん(川湯中)

中学校の部 2年生

参加数 69点

▶最優秀賞／池上 温人 君
(川湯中)



選んだ本
ティーン・パワーをよろしく

▶優秀賞／
富田 恵基 君(弟子屈中)
江上 潔香 さん(弟子屈中)

中学校の部 3年生

参加数 65点

▶最優秀賞／関 桜子 さん
(弟子屈中)



選んだ本
食堂かたつむり

▶優秀賞／
山野 一步 さん(弟子屈中)
栗田 佳典 君(川湯中)

■小学校3年生の部 最優秀賞

小公女

弟子屈小学校 渡邊 りなさん

セーラクルーは、インド生まれのイギリス人でお金持ちのむすめです。お父さんと2人でくらしていました。7才になったセーラはミンチン女学院に入学するため、お父さんに連れられてロンドンにきました。院長先生もお金持ちのセーラをかんげいして、特べつ室やごうかな食じと特べつにあつかってくれました。

クラスメートや先生たちにも好かれやさいいセーラでしたが、ある日をさかいに運めいがかわってしまったのです。お父さんがはさんしてなくなったと言っしらせがとどいたのです。一もんなしのセーラに、院長は手のひらを返したようにいじわるになりました。

小公女を読んでセーラがかわいそうになりました。なぜならクラスメートや先生たちにいじわるされたり、やねうらにおいやられたり、朝から夜まではたらいたり、ろくな食べ物ももらえなかったり、黒いふくを一枚しか持っていないからです。

わたしは、セーラがすこいと思ひます。かなしくても、つらくても、つかれていても、おなかがすいていても、わるくちを言ったり、ふまんを言わないからです。そして、人のわるくちを言わないこともすこいと思ひました。

もしわたしがセーラのようにになったらもんくを言ったり、わるくちを言ったり



してふまんだらけだと思ひます。わたしは、この本を読んでわがからなかつたことは、ミンチン先生がどうしてこんなにひどい事をするのか、どうして大人が子どもをいじめめるのか、わかりません。もしもセーラがクラスメートだったら、みならいたいし、なかよくしたいです。

この本はどんな生活でも、やさしい気持ちでいる事をわすれない事が大切だという事を言っている本だと思ひます。

わたしは、セーラが、さいこにしあわせになれてよかつたと思ひました。たぐさんつらくてたいへんな思ひをしたからしあわせになつてほしいと思ひながら読んでいました。

小公女を読んでセーラみたいにやさしくてもいやりのある女の子になりたいと思ひました。とてもへんきょうになる本なので、また読みたいです。

(寸評)この本を読んで、りなさん自身が主人公セーラの生き方や考え方について感動し、見習いたいと思ひていることが文章からよく伝わってきました。

■小学校4年生の部 最優秀賞

人と動物の絆

弟子屈小学校 山本 彩香さん

私は、『マリと小犬の物語』と言つ本をよみました。

このお話は、自衛隊の人が村人を助けたり、主人公の犬、マリを飼っている彩香が、マリを助けたりするお話です。私は、お母さんが老人ホームではたらいていて、おじいちゃんやおばあちゃんのお世話をするだけでも、人を助けることができるので、私は、お母さんと同じく、老人ホームで働きたいと思ひています。

このお話は、ある日、新潟県中越地方でマグニチュード6.8の地震が起きた本当のお話です。飼い主を助けようとする犬は、自衛隊のヘリコプターに乗れなくてげん地に残されてしまいました。その日から、何週間か経つてから、自衛隊のヘリコプターがむかえに来てまたいっしょにくらせるようになります。

私が一番心に残つた場面は、2つあります。一つ目は、主人公のマリとその飼い主、彩香はなればなれになってしまつところから、マグニチュード6.8の地震が起きます。た時彩香は、こわれた家の下に、マリは彩香を助けようとしてずっと土をほつていました。私がもし、マリだつたらこしたら飼い主にやさしくしてもらつたおかげで、大きく育つたから、彩香を助けたいと思ひます。私がもし、彩だつたらマリだけでも助かつてほしいと思ひます。

二つ目は、マリと彩香はなればなれになつてしまつたけど、また再会するところから。マリと彩香はなればなれになつてから何週間かたつたある日、自衛隊の人が、

「もう、村人たちが全員の助かつたから、あの犬の所へ行こう。」

とつれい言葉言つて

「うん。ありがとさよなら。」

と彩香は、涙を流しながら言ひました。彩香は、すくヘリコプターに乗りこみました。それから何分かつたつたからマリは見つかり、彩香は

「マリ。会いたかつたよー。」

と大きな涙を流しました。私がもし、彩だつたら、夜になつたとしてもマリを探します。マリにも、悲しい思ひをさせたくないし、私も元気でいたいからです。私がもし、マリだつたら、彩のことを待ち続けます。私は、飼い主を信じたからです。

私は、この本を読んで、マリと彩の絆はすこく強いと思ひます。

私はこの本を読んで思つたことがありつてます。それは、私は今、犬を飼いたいと思ひつてます。なぜかと言つと、今、人は、動物をすてたり、動物をころしたりと、悪いことをしています。でも、人を助けたり、動物を助けたりしていききたいです。

(寸評)実際にあつたことから彩香さんは、主人公彩ちゃんやマリの気持ちを自分のこととして考えることができていました。また、大切な命が自衛隊の方々のように多くの人たちに支えられていることや、自分も将来支える側の人になりたいと思ひていることが素晴らしいです。